

浅草公会堂 ホール利用のガイドライン

第9版 2023年3月13日

浅草公会堂 管理事務所

【はじめに】

浅草公会堂では、3年にわたってコロナ禍下での催し物開催のあり方について模索を続けてまいりました。この度、政府・新型コロナウイルス感染症対策本部がマスク着用についての考え方の見直しを行ったのを受け、改めて施設利用のガイドラインを策定いたします。

このガイドラインは「公益社団法人全国公立文化施設協会」および「一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク」が発表した各ガイドラインならびに東京都および台東区の指針に沿って、ホールを利用される際にご注意いただくこと、そして前もってご準備いただきたいことをまとめています。新たな段階に入った「新しい生活様式」の中、変わらず素晴らしい舞台芸術や催し物を安心・安全に発信できるよう、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

引き続き、基本的な感染対策へのご協力をお願いいたします。

- 1, 密集・密閉・密接のいずれの発生も避けるように努める
- 2, 換気、手指消毒の実施の推奨
- 3, 主催者が実施する感染対策を来場者に事前に周知する

【 定 員 】

施設内では定員を守り、人と人が触れ合わない距離での間隔を空けられるように努め、密にならないよう配慮してください。

客 席

1,074名 （内、4席は車椅子スペース）

舞台上・舞台袖

過度な密状態にならないようご注意ください。

楽屋

第1楽屋	21名	第2楽屋	33名	第3楽屋	13名
出演者控室	50名	個室楽屋A	3名	個室楽屋B	3名
リハーサル室	25名				

関係者が入れ替わって楽屋を使用する場合も、定員超にならないよう使用時間の設定をしてください。

【 浅草公会堂の役割 】

(1) 外部からの入場口に消毒液の設置

- ・エントランス入口3カ所／楽屋口／駐車場エレベーターホール
- ※上記以外に消毒液は設置されていません。

客席、ロビー、楽屋への設置は主催者様にて適宜ご用意ください。

(2) 館内の消毒

- ・ホールのドアノブ、手すり、客席肘掛け等共有接触部分、ロビーのソファ、テーブル、楽屋内イス、テーブル、座布団等備品、舞台上で使用する備品
- エントランスドア、階段手すり、トイレ、エレベーターボタン 等の消毒

※ご利用時間中の公会堂職員による消毒作業は基本ありません。トイレのみ巡回清掃をいたします。

(3) ホール、ロビーの換気

- ・ホール内、ロビーは外気を多く取り入れた換気を随時行います。室温に応じて換気量は変動します。
- ・ホール内は約13分で空気が入れ替わっています。また定期的にエントランスの扉を開放し換気を行っています。

※状況に応じて、客席の扉を開けて、換気を実施してください。

(4) 職員の感染防止策

- ・毎日検温し、体調不良の者は自宅待機とします。
- ・マスクを着用し手指の消毒、うがい等を徹底します。

【 主催者の役割 】

◆感染予防対策の協力の呼びかけ

来館される全ての方に向け、引き続き感染対策への協力を呼びかけてください。

◆関係スタッフ、出演者の緊急連絡先の把握

来場者については、連絡先の把握を推奨いたします。

◆浅草公会堂に入館される全ての来場者（観客）、出演者、スタッフの健康状態の確認

下記【セルフチェック項目】に該当する場合は来館来場を見合わせるよう、ホームページやSNS、また公演チラシ、ポスター等を通じて周知徹底してください。

【セルフチェック項目】

- ①37.5度以上または平熱+1℃の熱、咳、呼吸困難、咽頭痛、鼻汁、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、関節・筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐等の症状がみられ、体調が思わしくない場合
- ②新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ③過去1週間以内に政府から入国制限、入国後の検査・待機期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等（ただし、厚労省が定める「日本入国時の検疫措置」の準ずる場合は、これに限らない）

◆会場での検温について

主催関係者（出演者、スタッフ）は、会場に向かう前に必ず各自で検温を行い、平熱であることを確認した上でご来館ください。また、来場者（観客）の会場での検温実施を推奨いたします。

入館後、急な発熱や体調不良などの症状が確認された場合、速やかに管理事務所に
ご連絡ください。当該者を隔離し、濃厚接触者が増えないよう対応をしてください。

◆館内での具体的な対策

【密にならないよう心掛けてください。】

必ず人員整理の係員を各所に配置してください。またこまめな換気を心がけてください。

【マスクについて】

浅草公会堂の共用部分（1階 エントランス・お化粧室・授乳室・お休み処）におけるマスクの着用は任意となりますが、ホール等施設内での催し物開催中は主催者が判断し、関係者・来場者に周知してください。受付、グッズ売り場、来場者の誘導等大声を発する可能性のあるスタッフについてはマスクの着用を推奨いたします。

また、高齢の方や重症化リスクのある方が多い催し物の際には、マスクの着用を推奨いたします。ただし、来場者へマスクの着用の可否を強要することはご遠慮ください。

※「マスク着用の考え方の見直し等について」政府の方針が示される以前（2023年2月10日）に販売開始されているチケットに関しては、その販売時の注意事項に伴う対応を原則とし、これに変更を加える場合は、その旨を事前に周知してください。

※マスク見直し時期をまたぐ公演では、認識の行き違いが生じることも予想されるため、事前周知を徹底した上で、運営スタッフが十分に理解して対応できるよう努めてください。

【各エリアでは下記の点に留意ください】

- ・客席 来場者と接触するような演出（来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないでください。
原則として客席内の飲食は禁止です。

- ・楽屋
舞台裏 各楽屋の定員を守ってください。定員はガイドライン2ページ目をご確認ください。
必要に応じて消毒液の設置を推奨します。
飲食には特に注意を払い、換気消毒を心掛けてください。
ケータリングスペースを設置する場合には、消毒液を設置する、使い捨ての紙皿や紙コップを使用する等工夫してください。
共有物として設置してあった茶器類、スリッパ、ハンガー等は感染予防の観点からすべて撤去しています。

- ・舞台上 舞台袖が密にならないよう、人の出入り・配置を計画してください。
出演者と観客が接触するような演出はやめてください。

- ・ロビー 開場時間や休憩時間を長めに設定することで混雑緩和を図ってください。
入場待機場所の設置と十分な係員の配置をお願いします。
来場者が多い場合は、時間差での入退場もご検討ください。
特定の階の休憩スペースが混雑した場合、分散してのご利用を促してください。
お化粧室が混み合わないよう、列の整理や休憩時間の取り方を工夫してください。
誘導・案内時、大声を発する場合には係員のマスクの着用を推奨いたします。
館内で飲食する場合は一定の距離が保てるように配慮し、会話は控えめにしてください。

- ・物販 来場者が密集しないよう導線を工夫してください。
現金の受け渡しにトレイを使用する等、接触を減らす工夫をしてください。
物販に関わるスタッフは手指の消毒を徹底してください。
多数が触れるサンプルや見本品は置かないでください。
大声を発する呼び込みなどを行う場合にはマスクの着用を推奨いたします。

- ・その他 プレゼントや差し入れは控えるよう呼びかけてください。
オペラグラス等の貸出品は十分消毒を行ってください。

出演者と来場者と接触（入り待ち・出待ち・面会）や、感染リスクが高まるような演出（客席降り・ハイタッチ・来場者を舞台上へ上げる・握手会や特典会・お見送り等）は行わないでください。

◆仕込み、リハーサル、撤収時

- ・仕込み、リハーサル、撤収に十分な時間を設定してください。
- ・外部舞台スタッフによる公会堂の備品や舞台機器の操作がある場合は、終演後消毒等にご協力いただきます。消毒方法については、必ず公会堂舞台スタッフの指示に従ってください。
- ・消毒の時間は撤収時間としてホールの利用時間に含まれますので、スケジュールを作成する際にご注意ください。

◆感染対策の実施に関するチェックシートの記入に関して

- ・ご利用に際し、当日朝「感染対策チェックリスト」をお渡しいたします。
必ずご記入いただき、管理事務所にご提出ください。
コピーをお渡しいたしますので、1ヶ月程度保管してください。

◆公演後に関して

- ・公演参加者（関係者含む）が施設利用後5日後以内に新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合、速やかに浅草公会堂管理事務所（03-3844-7491）までご連絡ください。

本ガイドラインは新型コロナウイルスの感染状況における動向を踏まえ、必要に応じて対処方針の変更や適宜改定を行うものとします。

20200619（第1版）／20200710（第2版）／20200807（第3版）／20201201（第4版）／20211209（第5版）
20220401（第6版）／20221001（第7版）／20221220（第8版）／20230313（第9版）